
Castelo de Castelo Bom

について

カステロ・ボン城

はるか青銅器時代にさかのぼる古い城址に作られた城壁に囲まれたカステロ・ボン（Castelo Bom）は、ポルトガル屈指の長い歴史を誇る、もっとも標高の高い地方にある。

カステロ・ボンは、コア川（Rio Côa）を見下ろし、標高725メートルに位置しています。国境の町ヴィラルール・フォルモゾ（Vilar Formoso）にほど近いこの村は、ポルトガル内陸部への主要な玄関口であり、マドリッドから距離にしてわずか323キロメートルのところにあります。

起源を青銅器時代にさかのぼる城址は、かつてはスペインの城塞であり、アルカニゼス条約によってポルトガル領となりました。13世紀および14世紀に、ディニス王によって城と城郭の再建が命じられました。

16世紀の最盛期には、二重の城壁、主塔と2つの方形の塔のある要塞を備えたその姿を目にすることができたでしょう。独立回復戦争の時代には、ポルトガル中央政府の高官らの避難場となっていましたが、その後平和な世が続くにつれ、次第に顧みられなくなりました。今日目にすることができるのは、城壁の遺構、城門の半壊した外門と完全な姿をとどめている内門、昔の町の紋章（王冠のある国の盾をかたどったもの）、南面の貯水池、西面の火薬庫、長方形の階段穴、王の井戸です。

問い合わせ先

Castelo Bom (Almeida)
